

万年筆先生の文学賞を「〇〇界の芥川賞」とたとえることがある。「演劇界の芥川賞」こと「岸田國士戯曲賞」と木家、芥川賞両方を受賞した作家がいる。唐十郎と柳美里がそのふたり。岸田賞受賞作家の松尾スズキは惜しくも芥川賞を逃し、3人目とはならなかった。

●では、さっそく書いた小説にタイトルをつけてみよう！●



天国からアゲイン
 五郎の存在が
 れきたから…
 あいよし
 弟思いの五郎は実はゴースト。この世に未練があり、期間限定を条件に天国からやってきたのだった。



血まみれひかり公園
 あらすじ
 和男は高校のクラスメート・純子から「殺人容疑」をかけられ、とんでもない騒動に巻き込まれていく。

自分が書いた大切な作品だ。ふさわしいタイトルを考えよう。

よしっ！思いっきりダイナミックにつけるぞ！

改善ポイント！
 これではゴーストの話だと、読む前からわかってしまう。タイトルは、全体を表しながらも「隠す」ことも必要だ。

五郎が見られなかった弟の運動会に関連づけ、天国とこの世、別々でやっつくことを暗示した勢いのあるタイトルだ！

改善ポイント！
 「日曜にどんなヒドイ目にあうのだ？」と興味がわくタイトルだ。リズムがある語感もいい。

「隠す」けど、物語全体の要素が入っている言葉にすると…

もう一度、よーいドン！

改善ポイント！
 目を引き印象には残るが、物語の一部を誇大に表現しているだけ。インパクトは残しつつ、全体がわかるようにしよう。

インパクトがあればいいってモンでもないのか…

最低最悪サンデー

●応用として登場人物が同じで、恋愛ものだったらどんなタイトルにするか考えてみよう！●



五郎、ラスト3日間の恋
 生前、片思いの子に告白で多分がった五郎が、それを叶えるっていう設定で…

インパクト勝負！ラブコメなら、これくらい狙ってみるのもアリだ！



ダーリンは容疑者
 実は純子は和男が好きで、「殺人容疑」は気を引きたいからのウソだったってことで…

純愛ものにはピッタリだ。ラスト3日って？と読みに思わせていい。五郎のキャラにも合っているぞ。

ハイ！わかりました！！

小説のタイトルは、その物語を簡潔に表さなくてはいけない。さらに、読み手に「読みたい」と思わせる工夫も必要。いわば小説の「顔」だ。適当に付けたりせず、最適なタイトルをつけよう！

ハガキ文学大募集！
 今月のすらすら賞

富田綾乃/北海道

ハガキ文学大募集！
 1枚のハガキにキミのオリジナルの小説を書いて送ってね！ テーマ、ジャンル、長さは自由。びっちり書くのもよし、数行でもOK！ おもしろい作品は、万年筆先生が誌上で紹介＆アドバイスするよ〜！！ 住所・氏名・電話番号を書いて 〒101-8001 東京都千代田区一ツ橋2-3-1 小学館 小六⑨「小説すらすら講座」係 まで送ってね！
 ※個人情報の取り扱いについては、235ページをご覧ください。

次回のテーマは
推敲は忘れずに！
 推敲とはよりよい作品にするため、練り直したり書き直したりすること。仕上げの大事な作業だ！

「12歳の文学賞」の詳細は82ページだよ！ イラストと題字/そにしけんじ デザイン/菅野加代子 構成/古川美